横浜市立六つ川台小学校
平成２８年１０月３１日

学校だより
１１月

ホームページアドレス http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawadai/

きっかけをつくり、子どもの可能性をひらく

学校長　　柳澤　潤

富士山に初冠雪があった１０月２６日、雲一つない真っ青な空の下、全校遠足で「児童遊園地」に行きました。そこは、本校から歩いて１０分ほどのところにあります。緑豊かな森や大人数で遊べる広場もあり、子どもが遊ぶには最高の公園です。中央にある池には、カモがゆったりと休んでいました。小広場を抜けて急な階段を駆け上がると、展望台から富士山や丹沢の山並みが見えました。「こんなにはっきりと富士山が見られるのは久しぶりだ」と、毎日散策に来られているご夫婦が、教えてくれました。

全校児童は、縦割り班の小グループで活動します。１年生から６年生までの全学年が、１・２名ずつ入る異学年との縦のつながりを作る班です。年度の初めから縦割り班を組織し、朝の集会で遊んだり、給食を一緒に食べる機会をつくったりして、班としての一体感を高めていきます。特に６年生のリーダーとしての成長がめざましく、思いやりのある優しいかかわりがたくさん見られるようになります。当日は、午前中は班ごとのポイントラリー、午後は、班ごとの考えた遊びで過ごします。丸一日を、学校外ではあまり交流したことのない子どもたちが、いつまでもいつまでも鬼ごっこや、だるまさんが転んだ、ドッジボールなどで遊び続ける姿は、とてもほほえましく思います。子どもには、適切な環境と場があれば、柔軟に自分の可能性を広げる力があります。全校遠足は、異学年との交流を深める貴重な一日となりました。

さて、読書の秋です。学校では、全校遠足の次の日、図書委員会によるブックトークがありました。全児童が体育館に集まり、図書委員の発表を聞きます。図書委員は、「冒険」をテーマにした本を、一部読み聞かせも交えて紹介しました。「２分間の冒険」という本の紹介では、目を閉じて１分間静かに空想する時間もありました。子どもの読書への熱は、何がきっかけになるか分かりません。図書委員会によるブックトークは、初の試みです。冒険地図の挿絵を大きく引き延ばして紹介したことも、子どもの心を掴んだかもしれません。とても素敵な時間になりました。

今年度の取組として、「ブックタワー」の読書記録を進めています。本読みの記録を、記録用紙の下から書き始めて、上へ上へと書き綴っていきます。一枚の用紙に２４冊の読んだ本の記録が残ります。記録用紙は、２枚、３枚になると、上につないでいきます。つなぐ数が増えてくると、記録がタワーのようになるので、「ブックタワー」と名付けています。１０月の朝会では、１年生のＡさん、Ｂさんのブックタワーを紹介しました。あまりにも長いので、職員が体育館ギャラリーの柵の上から、二人の記録用紙をすだれのように下ろしていきました。体育館の床についてもなお、用紙は続いていました。文字どおり、タワーのようになった読書記録を見て、大きな驚きの声が体育館に広がりました。

読書週間には、同じ縦割り班で、６年生は１年生に、５年生は２年生に「読み聞かせ」を行います。「どんな本を読んであげようか」と、頭を悩ませています。また、３年生、４年生は、「読書郵便」でおすすめの本を紹介し合います。朝会でのクラスごとの音読発表も始まりました。「本の実」の皆さんによる「読み聞かせ」も継続しています。朝の読書タイムでは、音を立てずに、読書をする姿が見られます。

読書へのきっかけづくりは整っています。だれもが本の世界を存分に味わい、想像の翼を広げてほしいものです。

今月は、生活・総合の発表の場として、学習発表会があります。午後は、子どもたちが楽しみにしているふれあい祭り。保護者の皆様には、準備等、大変お世話になります。生活・学習に熱中する子どもたちの応援を、今月もどうぞよろしくお願いします。